質問回答書

AfCFTA 推進にかかる「ASEAN 知見共有オンラインセミナーシリーズ」実施業務

(公告日：2024年6月14日／公告番号：24a00406) について、入札説明書に関する質問と回答は以下のとおりです。

2024/7/5

独立行政法人国際協力機構
調達・派遣業務部次長（契約担当）

通番	該当頁	該当項目	質問	回答
1	P. 14	4. 業務の内容 (2) 業務内容	「セミナー参加にかかる参加者からの事前照会対応」は、AfCFTA事務局での取り纏めを依頼することも想定されているのでしょうか？ その場合、事務局フォーカルポイントや現地関係者等をご紹介いただけるのでしょうか？	AfCFTA事務局側での取り纏めではなく事務局側フォーカルポイントとのやり取りを通じて受注者に取り纏めて頂く想定です。AfCFTA事務局側フォーカルポイントはJICA側からのご紹介が可能です。
2	P. 14	4. 業務の内容 (2) 業務内容	訪日研修の場合、セミナー実施前のオリエンテーションや、事前の接続確認などはJICAセンターにて担当されますが、本セミナーでもJICA本部ご担当の方で実施される予定でしょうか？	本件オンラインセミナーでは、実施前オリエンテーション（事前の資料配布等含む）や事前の接続確認も含め受注者をお願いする想定です。
3	P. 15	4. 業務の内容 (3) 実施上の留意事項	参加者は数十名程度を想定されています。これは20名程度でしょうか。あるいはもっと多い50名以上などを想定されているのでしょうか？	正規参加者はAUDA-NEPADからは10名程度、AfCFTA側からも同程度の参加者数を想定し、20～25名程度を毎回参加の登録受講者として想定しています。それ以外にも両機関やRECsなどからのオブザーバー参加希望を事前に聴取し希望があれば参加頂く予定です。
4	P. 15	4. 業務の内容 (3) 実施上の留意事項	（上記質問への回答が、20名以上の場合の質問です。） 講師からの一方的な講義ではなく、参加者の活発な議論やアクティブラーニングの実施の工夫も求められています。双方向性や参加型セミナーとしての効果を高める場合、15名～20名程度が最適な人数だと思われそうですが、人数を重視されているか、内容を重視されているか教えてください。	内容、特に以下の点を重視しています。 ・受講者の講義内容理解 ・講師と受講者の意見交換 ・受講者間の意見交換 ・受講後のフォローアップ
5	P. 15	4. 業務の内容 (3) 実施上の留意事項	4回のセミナーへの参加者は同じ方が参加される予定でしょうか？（ほぼ同じ参加者であれば、前半の理解を前提に後半では更に議論を深めるなど参加者主体の形に進めることが可能だと考えられるためです。）	基本的に同じ登録受講者（正規参加者）にご参加頂く想定ですが、希望者による各回のオブザーバー参加を排除するものではありません。
6	P. 18	第3、1、(3) 業務従事者の経験・能力等	業務従事者として、総括責任者1名、業務従事者A1名を想定されており、提案書には、この2名それぞれについて、1) 業務従事者の推薦理由 2) 経験能力等 3) 類似業務の経験の提出が必要でしょうか？	業務責任者（総括）および業務従事者のそれぞれについて提出が必要です。